

基本情報

問1 あなたが学校運営協議会に参加している小学校を選んでください。

- (1) 篠津小学校 (2) 西小学校 (3) 白岡東小学校

学校全般について

問2 これからの学校教育で重要だと思うことを選んでください。（いくつでも可）

- (1) 基礎的な知識等、学習の基盤となる資質・能力を育む教育
- (2) 児童一人一人の興味・関心等に応じ、その意欲を高める教育
- (3) 児童同士の学び合いや多様な他者と協働した探究的な学びを促す教育
- (4) 学校と地域が連携した体験学習やキャリア教育
- (5) ICT 環境や先端技術を活用した教育
- (6) 少人数指導等によるきめ細やかな教育
- (7) 義務教育9年間を見通した、切れ目のない教育
- (8) 豊かな人間性を育む教育
- (9) たくましく生きるための健康や体力を養う教育
- (10) その他→自由記述欄へ

(10)その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

地域における学校の役割について

問3 市立小・中学校が担う地域における活動拠点としての役割の中で、今後、特に重要だと考えるものを5つまで選んでください。

- (1) 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所
- (2) 地域防災の拠点
- (3) 選挙の投票所
- (4) 地域のコミュニティ活動・交流の拠点
- (5) スポーツ活動の拠点
- (6) 文化活動の拠点
- (7) 生涯学習の拠点
- (8) 子育て支援の拠点
- (9) 高齢者福祉の拠点
- (10) 障がい者福祉の拠点
- (11) 行政窓口サービス等の拠点
- (12) 特にない（児童・生徒の学びの場以外の役割は不要）
- (13) その他→自由記述欄へ

(13)その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

小学校の学級数等について

問4 小学校の1学年あたりの学級数は、どのくらいの学級数がよいと思いますか。

(1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級以上

問5 問4の選択肢を選んだ理由について、(1)～(6)の調査項目ごとに自身のお考えを選んでください。

また、調査項目以外の内容を記述する場合は、(7)その他の自由記述欄へ記入してください。

調査項目		あてはまる	あてはまる やや	ややあては まらない	あてはまら ない
(1)	一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられるから				
(2)	クラスのメンバーが大きく変わらず、子どもたちの人間関係が深まりやすいから				
(3)	学年を超えた交流・行事ができるから				
(4)	クラス替えができるから				
(5)	多様な価値観や意見に触れることができるから				
(6)	クラブ活動などの選択の幅が広がるから				
(7)	その他	自由記述			

(7) その他はこちらに記述してください。

問6 小学校の1学級あたりの人数は、どのくらい的人数がよいと思いますか。

- (1) 1～15人 (2) 16～20人 (3) 21～25人 (4) 26～30人
(5) 31～35人 (6) 36人以上

問7 問6の選択肢を選んだ理由について、(1)～(6)の調査項目ごとに自身のお考えを選んでください。

また、調査項目以外の内容を記述する場合は、(7)その他の自由記述欄へ記入してください。

調査項目		あてはまる	あてはまる やや	ややあては まらない	あてはま らない
(1)	一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられるから				
(2)	発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなるから				
(3)	子どもたちの人間関係が深まりやすいから				
(4)	少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができるから				
(5)	集団の中で切磋琢磨することができるから				
(6)	多様な価値観や意見に触れることができるから				
(7)	その他	自由記述			

(7) その他はこちらに記述してください。

通学時間と通学区域について

問8 小学生の片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| (1) 15分未満 | (2) 15分～30分未満 | (3) 30分～45分未満 |
| (4) 45分～60分未満 | (5) 60分以上 | |

問9 小学校の学区の設定について、(1)～(5)の調査項目ごとに自身のお考えを選んでください。また、調査項目以外の内容を記述する場合は、(6)その他の自由記述欄へ記入してください。

調査項目		重要	やや重要	やや不要	不要
(1)	安全・安心な通学路・通学手段で通学できるようにする				
(2)	児童に負担がかからない程度の距離・時間で通学できるようにする				
(3)	学校生活を送るうえで、国が示す基準(※1)に準じた学級数や人数となるようにする				
(4)	1つの小学校からは1つの中学校に通えるようにする				
(5)	1つの地域（自治会）が複数の学区に分かれないようにする				
(6)	その他	自由記述			

(6) その他はこちらに記述してください。

--

※1 学校教育法施行規則では、小・中学校ともに12学級から18学級までを標準としています。

学校施設について

問１０ 学校施設は教育施設としての役割に加えて、様々な機能や役割が求められています。これからの学校施設について、特に重要だと思うことを３つまで選んでください。

- （１）防災・防犯機能の強化
- （２）児童が快適に学習できる環境
- （３）教職員が快適に働くことができる環境
- （４）バリアフリー、ユニバーサルデザイン(※２)の推進
- （５）環境への配慮
- （６）地域の方が使うことができるスペースの充実
- （７）避難所機能の強化
- （８）子育て支援機能との複合化
- （９）その他→自由記述欄へ

（９）その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

※２ 年齢や障害の有無などに関わらず、できるだけ多くの人が利用できるようデザインすること。

問１１ 本アンケートの付属資料にあるとおり、本市では現在、学校施設の老朽化が進行しています。それにより、特に心配だと感じることを２つまで選んでください。

- （１）災害発生時の児童の安全確保が心配である。
- （２）施設が建設当時の考え方で設計されているため、現在の児童の教育・生活環境に合わない。
- （３）雨漏りや設備故障が発生し、学校生活に支障をきたす。
- （４）災害時、安全面等から避難所として使用しづらい。
- （５）校舎が古いことにより児童の登校意欲が湧かなくなる可能性がある。
- （６）その他→自由記述欄へ

（６）その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

問１２ 学校施設を複合化する場合、どのような施設と複合化することが効果的だと思いますか。
（いくつでも選択可）

- （１）学童クラブや保育所などの子育て支援施設
- （２）老人福祉センターなどの高齢者福祉施設
- （３）公民館や集会所などの地域住民の利用施設
- （４）災害時に利用できる施設
- （５）学校施設の複合化は行うべきではない
- （６）その他→自由記述欄へ

（６）その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

プール施設等について

問１３ 授業で使用するプール施設等について、特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

- （１）天候等に左右されず、計画通りに実施できる
- （２）季節を問わず、年間を通して実施できる
- （３）プールまでの移動時間が短い
- （４）快適な室温、水温で実施できる
- （５）水泳の専門的指導者からの指導を受けられる
- （６）授業を見学する児童への配慮（日差し、気温等）がなされている
- （７）プールの管理（水質管理・清掃等）について学校の負担が少ない
- （８）その他→自由記述欄へ

（８）その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

学校給食について

問１４ 安全でおいしい学校給食を提供するために、特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

- (１) 温かい給食が提供されること
- (２) 調理過程が身近に感じられること
- (３) 児童が運搬や配膳をしやすいこと
- (４) 給食費が安いこと
- (５) 給食費が高くなってもより品質にこだわった食材を使用すること
- (６) 地場産食材を活用すること
- (７) 食育や食文化への関心を高めること
- (８) アレルギーなどの理由で標準食が食べられないことへの配慮がなされていること
- (９) その他→自由記述欄へ

(９) その他に○をつけた方はこちらに記述してください。

これからの学校の在り方について

問１５ 本市の「これからの学校の在り方」に対するご意見やご要望があれば、記入してください。
(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。